

# 安全ニュース

## 職場における事故防止！原因と対策！！

先月の事故件数は2件でした。寒さで身体がかじかみ、就業中の事故に繋がりがやすくなっています。今回は、職場における転倒災害の原因や対策について考えてみましょう！

### ★《転倒災害の主な原因！》



1. 滑り：床が滑りやすい素材になっていたこと、床に水や油が飛散していたこと、ビニールや紙等滑りやすい異物が床に落ちていたこと
2. 躓き：床の凹凸や段差があったこと、床に荷物や商品が放置されていたこと
3. 踏み外し：大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で作業を行っていたこと

### ★《転倒対策に役立つ安全活動》

油污れ、水濡れなどによる「滑り」や、通路上の荷物への「つまずき」による転倒災害を防ぐには、職場内の4S活動（整理、整頓、清掃、清潔）が、基本的な対策となります。4S活動を通じ転倒の原因を除去することにより、安全性及び生産性の向上が期待されます。

また、職場に潜んでいる危険を見つけるKY活動も重要です。KY活動は、業務を始める前に「どんな危険が潜んでいるか」を職場で話し合い、危ない点について合意をした上で対策を決め、設定された行動目標や指差し呼称項目を一人一人が着実に実践することで、安全衛生を先取りしながら業務を進める方法です。

同様に、危険情報の共有を行う危険の「見える化」も転倒対策に役立ちます。危険の「見える化」とは、職場の危険を可視化（＝見える化）し、従業員全員で共有することです。事前に転倒のおそれのある箇所がわかっているならば、慎重に行動することができます。職場の中で転倒災害が多発している箇所は、危険マップやステッカーの貼り付けなどにより作業員全員で情報を共有し、安全意識を高める必要があります。

加齢による平衡機能、筋力などの身体の機能低下も転倒災害の原因の一つであるため、身体機能の向上を図る体操を実施することも転倒予防対策として有効です。



## 傷害事故報告

1月の傷害事故は「2」件。

就業中だけでなく、行き帰りも怪我や事故には十分注意しましょう！

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
令和2年度	1	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	9
令和3年度	0	0	0	1	1	1	0	1	1	2	—	—	7

発生日	時間	性別	年齢	場所	起因物	事故状況	被災状況
12/26	4時頃	男	81	新塚	コートローラー	ハンドルに手を擦りつけ、皮膚が剥がれた。	皮膚擦過傷
1/24	11時頃	男	83	大和田3	地面	濡れた地面に足を滑らせ転倒、頭を打った	頭部、顔打撲
1/26	1時30分頃	女	73	西堀2	地面	拭き掃除の際、手が滑り地面に手を打ち付ける	左指靭帯損傷

## 就業上のお願い

皆様に安心してご就業いただくためにも、ご就業の際にはマスクなしでの会話を控えるなど感染予防の徹底をお願いいたします。

また、体調不良の場合、まずはシルバーセンターの担当者までご連絡ください。

感染拡大防止のため、くれぐれも解熱剤等を服用して無理に勤務することは慎んでいただきますようお願いいたします。

体調不良がすぐに回復しないようであれば、病院等で受診し、医師の診断結果をお知らせください。

(1) 会員の皆様が感染者となった場合について  
保健所の指示に従ってください。

(2) 会員の皆様が濃厚接触者に認定された、もしくはその疑いがある場合について

- ・ 保健所から濃厚接触者認定を受けた場合  
→ 保健所の指示に従ってください。
- ・ 保健所から濃厚接触者認定を受けていないが、同居する家族や接触した知人が感染者もしくは疑似症患者と認定された場合など  
→ センターまでご相談ください。